

ATACカンファレンス2017 京都 開催のお知らせ

ATACカンファレンスは「テクノロジー」と「コミュニケーション」をキーワードに、社会の中で困難を抱える人々を支援する技術と考え方を多くの人と共有するために1996年から毎年開催されています。今年は更に先を見つめ、これまでの内容に加えて、その技術を活用して人が幸せに「学ぶ・働く・暮らす」生き方の創造・社会の意識の変革・制度の整備にまで踏み込んで、福祉や教育分野以外の幅広いみなさんと共に考える機会も企画したいと思います。セミナーでは、現場ですぐに役立つ技術や、それを用いるために必要な考え方を専門家が分かりやすくお話しします。

www.atac-lab.com

[日 程] 2017年 **12月1日(金)** ~ **12月3日(日)**

1日(金) 10:30~16:00 (受付開始 10:00)	Academic Day
2日(土) 9:20~16:45 (受付開始 9:00)	Gathering Day
17:00~19:00	イブニングセッション
3日(日) 9:00~16:00 (受付開始 8:30)	Practical Day

[会 場] **国立京都国際会館** 〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池

[主 催] **株式会社 atacLab**

AI(人工知能)やロボットをはじめとして、我々をエンハンスメント(能力増強)する技術の発展が話題になっています。おそらく福祉や特別支援教育にも導入が進むでしょう。今まで当たり前と思っていたことが突然逆転する可能性さえありそうです。この社会の急速な変化の中で、障害当事者や高齢者の生活はどう変わり、特別支援教育や福祉のサービスはどうなっていくのでしょうか。

エイトック

今年のATACカンファレンス テーマ「表と裏」

表は明るいイメージがあり、裏には暗いイメージがつきものですが本当にそうでしょうか。表裏は任意に決まるものであり、実は決して固定的なものではありません。しかし、表が絶対だと思っている人はなかなか裏を見る機会がありません。それが問題を固定化し、変化を止めていることもあります。

案外、表と裏をひっくり返せば特別支援教育や福祉の本質が見えてくるかもしれません。

12月2日(土)の **Gathering Day** では様々なテーマを表と裏から見て議論していきます。そして、並行して企業展示を予定しております。セミナーだけでなく展示エリアからも「表と裏」が体感できるよう楽しい場を作りたいと思います。これまで同様、学術発表の場である **Academic Day** を12月1日(金)に、専門的で実践的な知識を学ぶ **Practical Day** を12月3日(日)に合わせて行います。

フィーカ

なお、今年のATACカンファレンスは、新しく始まる「**FIKAカンファレンス(夢のある子育てを支援するカンファレンス)**」との共同開催です。12月1日(金)は、子育てを取り巻く様々な悩みをICTとコミュニケーションを組み合わせることで解決に導くことを目的としてFIKAカンファレンスが開催されます。障害のあるなしに関わらず人とのコミュニケーションや学び方・働き方・生き方を見つめ直す新しい形のカンファレンスになればと思います。

atacLab
学習・生活・就労支援サービス

ATACカンファレンス事務局

株式会社 atacLab / エイトックラボ

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 16-28 グラスシティ渋谷 6F

Tel : 03-4360-5078 / Fax : 03-5309-2088

e-mail : seminar@atac-lab.com URL : <http://atac-lab.com>

●12/1 (金) Academic Day : 実践研究を通じて、日々の取り組みを考える コース事前選択・定員制

●12/2 (土) Gathering Day : 皆で集まりこれからの社会を議論し、整理する

- 「障害だけを見ていると・・・」
 中邑 賢龍 (東京大学先端科学技術研究センター 教授)
 「できなくても動く」
 江崎 弘樹 (interaction hair design 代表/トップスタイリスト)
 「ロボットは人を支援できるのか？」
 高橋 智隆 (株式会社 ロボ・ガレージ 代表取締役社長/ロボットクリエイター)
 「未来の福祉をビジネスから考える」
 西山 浩平 (株式会社 CUUSOO SYSTEM 代表取締役社長/実業家)
 「組織のリーダー論 ～理想の上司とは?～」
 岩田 真一 (未来スケープ 代表/ベンチャーキャピタル ATOMICO 日本代表/投資家)
 「柔らかに見る力」
 鈴木 康広 (武蔵野美術大学空間演出デザイン学科 准教授/アーティスト)
他 機器展示・一般発表・講師による相談会・イブニングセッション 等

●12/3 (日) Practical Day 実用的知識や考えを身につける 半日コース・定員・事前登録制

※当コースは、特別支援教育士 (S.E.N.S)、特別支援教育士スーパーバイザー (S.E.N. S-SV) 資格更新のためのポイント (1 P) として認定されます (予定)。

9:30-12:00 モーニングセッション

- ※(1)「テクノロジー利用を前提とした読み書き障害の評価と実践例」▶本コースのみ 9:00-
 (2)「ダイコンから国算理社」
 (3)「勉強が遅れた子どもの意欲を高める方法」
 (4)「障害者雇用の表と裏 ～これからの働き方を考える～」
 (5)「学校では教えられなかったこと ～将来に悩む若者の生き方とは?～」
 (6)「テクノロジー vs 人間 ～教育や福祉に本当に必要なものは?～」
 (7)「実践家 vs エンジニア ～こんなこと出来るか!?～」

13:30-16:00 アフタヌーンセッション

- ※(8)「LD・ADHD など生きにくさを抱えた人たちの学び・働きと合理的配慮」▶本コースのみ 13:00-
 (9)「学校を離れた学び ～ロケットの子ども達の声を中心に～」
 (10)「黙って見守ってわかること ～障害を超えたコミュニケーション～」
 (11)「自閉症や知的障害のある子ども達は どうやってスマホを使って生き抜いているのか?」
 ～コミュニケーションの実例から学ぶ～
 (12)「黙薬なんていらない! 心理学者 vs 精神科医」
 (13)「最後に闘うべきは親だった -子どもを応援したい親・支援者のすべきこと-」
 (14)「スマホやタブレット端末を生活支援に活かすアイデア特集」
 ～タブレット端末をどうやって教室や職場に取り入れるか～」

10:00-15:00 一日セミナー

- (15)「大人のための視点を変える一日 ～アーティストと行く美術館～」一部実費負担あり

●参加費 / 参加日	事前割引価格 1 (9/30 までの お申し込み)	事前割引価格 2 (10/31 までの お申し込み)	11/1 以降の お申し込み
12/1 (金)	8,000 円	9,000 円	10,000 円
12/2 (土)	10,000 円	11,000 円	12,000 円
12/3 (日)	半日 5,000 円 一日 8,000 円	半日 5,500 円 一日 9,000 円	半日 6,000 円 一日 10,000 円
12/1 (金)～12/3 (日) 三日間参加	24,000 円	26,000 円	28,000 円
12/2 (土)・12/3 (日) 二日間参加	16,000 円	18,000 円	20,000 円

一般発表も募集しております。詳細・お申し込みは、ホームページを参照ください。

http://atacconf.com/2017_12